

放送朝会 校長の話 2月25日

先週の土曜日、台東区19校の5年生が集まってビーチボール大会が行われる予定でしたが、急遽中止になってしまいました。5年生は5ヶ月もの間、大会に向けて一生懸命練習してきました。どんなにか悔しい思いをしたことでしょうか。とっても残念でした。けれども皆さんが取り組んできた練習は決して無駄にはならないと思います。身体や心を鍛えたり、力を合わせて戦うチームワークを築いたりしたことは5年生の皆さんの身体の中で生きています。それを大事にしていってください。また、代わりに土曜日に浅草小学校の体育館でチーム同士や保護者のチームと対戦しました。とっても上達していて素晴らしいチームワークでした。この経験を今後の学校生活に活かしてください。

さて、コロナウイルスの感染症が広がっていて、特に中国では感染が拡大しています。日本から中国への支援物資としてマスク272万枚、手袋38万着、防護服15万着が送られています。そして民間団体や企業から4億5千万円の寄付金が送られています。今、話題になっているのは、その支援物資に漢詩が添えられています。

「山川異域 風月同天」

「さんせんいきをことにすれどもふうげつてんをおなじゅうす」

住むところは違っても同じ空の下でつながっているという意味です。中国に送ったこの言葉は、中国の人たちを励ますことができました。

世界中が協力して感染症の拡大を食い止めていかななくてはなりません。困っている人たちがいたら助け合うことが大切です。自分たちにできることを見つけてやっていきましょう。